

1. 単元名(活動名)：バングラデシュ ミッケ！					
2. 対 象：札幌市立南の沢小学校 1年2組（36名）、1年1組（36名） 授業者：小島由紀子	3. 学習領域				
		1	2	3	4
4. 教科との関連性： 国語「むかしばなしがいっぱい」 生活科「みんなでいっしょに」	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人 権	環 境	平 和	開 発
5. 実施時期：2015年2月末	6. 時数：4時間				
	7. 単元の目標（評価の観点を意識して設定）： 【関心・意欲】・バングラデシュの遊びやものに関心をもつ。 【技 能】・バングラデシュと日本の違いや似ているところを見つけることができる。 【知識・理解】・言葉や生活、文化の違う場所でも、同じような遊びや楽しみがあることを知る。		8. キーワード： ・ちがひ ・おなじ、にている ・あそび ・バングラデシュの生活		
9. 単元について（教材観、単元設定の理由、開発教育／国際理解教育の視点等）： 子どもたちは、「外国」や「日本」という概念もまだはっきりもっていない1年生である。最近、世界地図やほかの国の言葉に触れて、自分たちと違う国があるということ、いろいろな国があるということを少し理解し、国旗に強く興味を抱くようになった。なんとなく日本と違うところがたくさんあるという認識はしているようである。 本単元では、「外国」の中の1つである「バングラデシュ」を通して、子どもたちの「外国」への興味を高めたい。さらに国際理解の第一歩として、外国っておもしろそうという気持ちをもって終わりたい。そのため、子どもたちは「違う」ところにたくさん目を向けると考えられるが、違うことに悪いイメージをもったり、「途上国は貧しい国」「バングラデシュはかわいそうな国」というイメージをもったりしないように留意したい。また、自分たちの生活と違うところだけでなく、似ているところにも着目させながら、バングラデシュと日本を考えていくようにする。 導入では国語の単元で昔話に親しむことを通して、日本から少しずつ外国へ目を向け、バングラデシュへと焦点を当てていく。ここでは、日本だけでなくバングラデシュにも楽しいお話があることに気づかせたい。さらに2時間目は、バングラデシュと日本のものを写真で比較し、似ているところと違うところを見つけて、バングラデシュへの親しみをもたせる。違うところあっておもしろい、似ているところもあるんだなと感じられるように、それぞれの「違い」と「似ている」を大事にしていく。3時間目には実際にバングラデシュの子どもに触れながら、好きな遊びやキャラクターなど、子どもたちが親しみやすい内容から、バングラデシュを知っていく。遊びを体験しながら、日本と似ているということや、友達と遊んで楽しいという気持ちはバングラデシュでも一緒だということを感じて欲しい。 本単元の3時間を終えたときに、バングラデシュと日本は似ているね、バングラデシュはおもしろそうな国だね、ほかの国ももっと知りたいなという気持ちが子どもたちの中に残ってほしいと願っている。					

10. 展開計画（4時間扱い）		
展開順	発問・働きかけ 主な学習活動と学習者（児童生徒）の意識	留意点など
1 時間目	<p><b>【外国のおはなしをよんでみよう】</b></p> <p><b>1. 日本の昔話を見つけよう</b> ○国語の教科書（光村図書）P33-34の絵から、日本の昔話を見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">日本には、むかしばなしがたくさんあるね。</div> <p><b>2. 外国のお話を見つけよう。</b> ○教科書P35-36の絵から、外国のお話を見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">がいこくにも、おはなしがたくさんあるんだね。</div> <p><b>3. 外国のお話を聞いてみよう。</b> ○「馬のたまご」からどんなお話か想像する。 ○『馬のたまご』の読み聞かせを聞く。</p> <p>「どこの国のお話かな」 「実は、先生が冬休みにに行ってきた国のお話だよ。」</p> <p>○バンラデシュの国旗、場所の確認 ○ベンガル語の挨拶を知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;">バンラデシュにも、おもしろいおはなしがあるんだね。</div> <p><b>4. かんじたこと、おもったことをかこう</b> ○本時の振り返りをワークシートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">もっとバンラデシュのことが知りたいな。</div>	<p>*ワークシート（資料1）</p> <p>*子どもたちが見聞きできるように、場所をつくり、移動させる。</p> <p>*『馬のたまご』 昔ある男が、楽をしたい息子のために馬を買おうとする。だが、お金がないので馬の卵なら安く手に入るだろうと、馬の卵を探す。男は悪い商人から買った「馬のたまご」である瓜を大事にするが、それが割れてしまい、駆け出したキツネを馬の子と勘違い。キツネを馬と思って必死においかけるが逃してしまう。今度はサル、そしてトラまで馬と勘違い…。結局最後まで馬の卵だったことを信じたまま、馬を手に入れることはできなかったというお話。</p> <p>*バンラデシュでは「それはうそだ。ありえない。」というような意味のことわざとして、「グラル・リム（馬のたまごだ!）」とよく言う。</p>
2 時間目	<p><b>【バンラデシュってどんな国?】</b></p> <p><b>1. ベンガル語で挨拶しよう。</b> 「アッサラーム アライクム」 「アライクム アッサラーム」</p> <p><b>2. 写真でミッケ! をする。</b> 「今日は、グループに2まいの写真をプレゼントするよ。どんな写真が入っているかはひみつです。どちらかが日本で、どちらかがバンラデシュの写真です。今日はその2まいの写真を使って、グループで力を合わせて3つのミッションをクリアしてもらいます。バンラデシュのひみつをミッケ! しましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">ミッション① 何の写真でしょう。</div>	<p>*グループに2枚1組ずつ写真を配付する。</p> <p>*ミッション①～③は、それぞれ画用紙にまとめる。（資料2）</p>

ミッション② 1枚は日本の写真。1枚はバングラデシュの写真。どちらがどっち？

ミッション③ 日本とバングラデシュの「にているポイント」と「ちがうなポイント」を見つけましょう。

\*例として教師用の国旗の写真を用意し、提示する。3つのミッションの確認をしながら、画用紙へのまとめ方の例を示す。

\*早く終わったグループのために、1組ずつ写真を多く用意する。

1組目が早く終わったグループに、別の組み合わせのものを渡す。

\*画用紙に貼り付けやすいように、写真の裏に両面テープをあらかじめ貼っておく。

### (例) 国旗



### カレー (トルカリ)



### バス



### 郵便ポスト



### 人力車 (リキシャ)



### 市場



### 伝統的な服 (ゆかた・サロワカミューズ)



### 食事の道具



### 救急車



	<p><b>3. 見つけた「にているポイント」「ちがうなポイント」を発表しよう。</b> ほかのグループの発表を聞いて、バングラデシュを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>バングラデシュには日本とちがうところがあったね。にているところもたくさんあったね。</p> </div> <p><b>4. 気付いたこと、思ったことを書こう。</b> ○本時の振り返りをワークシートに書く。</p>	<p>*違いをたくさん見つけると思うが、違いだけでなく、「同じ」であることや「似ている」点についても触れる。</p> <p>*子どもたちの発見したことにつなげ、必要に応じて説明やものを見せることができるように、準備しておく。</p> <p>*ふりかえりシート（資料3） *本時の感想だけでなく、もっと知りたいこと、不思議に思ったこと、面白かった点などについても触れて書くように声を掛ける。</p>
<p>3 時間目</p>	<p><b>【見てみよう！やってみよう！】</b></p> <p><b>1. 挨拶しよう。</b> 「アッサラーム アライクム」 「アライクム アッサラーム」</p> <p><b>2. お友達になったよ。</b> バングラデシュで出会った2人の子どもの紹介を聞く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>ハシブ 7才 男の子</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>サフィア 9才 女の子</p> </div> </div> <p><b>3. 二人に好きなことをたくさんおしえてもらおう。</b></p> <p>①「好きなキャラクターは？」 ハシブくん：「ドリもんがすき。」 サフィアちゃん：「モトゥ・パトゥがすき。」 ○ドラえもののマンガを見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>(画像) ベンガル語のドラえものの漫画の1ページ</p> </div>	<p>*活動しやすい広い教室で行う。</p> <p>*サロワ・カミューズを着て、挨拶。</p> <p>*パワーポイント（資料4）でハシブくんとサフィアちゃんが遊びを紹介していく形式で進める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>(写真) バングラデシュ のお店にある ドラえものの 商品</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>(写真) モトゥ・パトゥ</p> </div> </div> <p>*日本のドラえものの漫画の同じページも一緒に見せ、見比べることができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>*著作権の関係でドラえもん、モトゥ・パトゥの画像は省略。</p> </div>

ドラえもんは、バングラデシュでも人気なんだね。  
バングラデシュのアニメもおもしろいね。

②「好きな食べ物は何？」

ハシブくん「お肉のトルカリ。」  
サフィアちゃん「魚のトルカリ。」

トルカリは、みんな大好きなんだね。いろいろなしゅるいがあるんだね。

③「好きなスポーツは何？」

サフィアちゃん「バドミントン」  
ハシブくん「クリケットとサッカーが好き。」

クリケットって野球みたいだね。  
バドミントンやサッカーは日本でもあそぶね。

④「好きなあそびは何？」

サフィアちゃん「なわとび。ルヴウも好き！でも、1番好きなのは、ダビ！」

○ルヴウのボードを見る。

すごろくみたいだね。

○ダビをとなりの人とペアでやってみる。

ハシブくん「ルーマルチョルが好き！」  
○ルーマルチョルをやってみる。

ハシブくん「パニパニも好き。「パニ」はベンガル語で水のこと。やってみよう。」

○パニパニの動きを全員でやってみる。

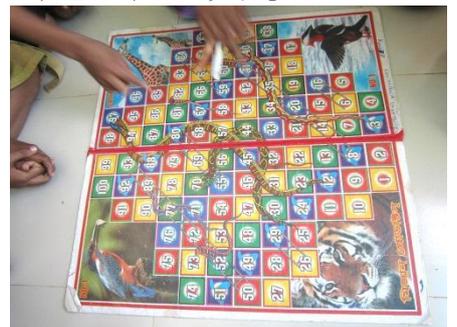
名前はちがうけど、おなじようなあそびがあったね。  
バングラデシュの手遊びもおもしろいね。

バングラデシュにも、日本と同じようなあそびがあるんだね。バングラデシュにも楽しいあそびがいっぱいあるね。

\*クリケット (写真を提示)



\*「ルヴウ」  
すごろくのようなもの



\*「ダビ」  
2人でやる、数を数えていく手遊び

\*「ルーマルチョル」  
日本のハンカチ落としと同じ遊び。バングラデシュでは、ハンカチを落とした子のストーリーが歌となっており、その歌を歌いながらハンカチを落としていく。

\*「パニパニ」  
手遊び。日本の「せんだみつおゲーム」に似ている。「パニパニ」と言って水を飛ばす人と、飛ばされた人の両脇で「トングートンゲー」と言って腕を振る人がいる。

	<p><b>4. ハシブとサフィアへおてがみをかこう。</b>  「バングラデシュの遊びを2人から教えてもらったね。やってみてどうでしたか。2人におてがみでつたえよう。」  ○本時の感想をお手紙に書く。</p>	<p>*ふりかえりシート（資料5）</p>
<p>4 時間目</p>	<p><b>【伝えよう！バングラデシュはかせにおまかせ！】</b></p> <p><b>1. 挨拶しよう</b>  「アッサラーム・アライクム」  「アライクム・アッサラーム」</p> <p><b>2. 紹介カードを書こう</b>  「バングラデシュの勉強をして、みんなはもう、バングラデシュ博士です！」  「バングラデシュ博士のみなさん、博士のおすすめのバングラデシュを誰かに教えてあげよう！」</p> <p>「だれに伝える？」  「どうやって伝える？」</p> <p>○ワークシートに伝えたいこと、紹介文を書く。</p> <p><b>3. 練習をしよう</b>  ○グループ内で、紹介の練習をする。</p> <p>○宿題：おうちの人、先生など、伝えたい人へバングラデシュの紹介をして、感想を書いてもらってくる。</p> <p>(後日) 書いてもらった感想をもとに交流。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>バングラデシュのことを伝えたら、喜んでもらえたよ。バングラデシュのこと知ってもらえたよ。もっと調べて伝えたいな。</p> </div>	<p>*「伝えたい」という気持ちをもたせるために、勉強したことをこれまでの学習資料や写真を通して思い出す。</p> <p>*伝えたい相手を考えさせ、気持ちを高める。</p> <p>*どうやって伝えたらいいか子どもからも引き出しながら、紹介文へ繋げていく。</p> <p>*ワークシート（資料6）</p>
<p>1 1. 評価方法</p> <p><b>【関心・意欲】</b>・バングラデシュのものや遊びに関心をもち、日本とにているところやちがうところをみつけようとしている。（観察、ワークシート、画用紙）</p> <p><b>【技能】</b>・バングラデシュと日本のにているところやちがうところを見つけ、表現することができる。（ワークシート、発言、画用紙）</p> <p>・バングラデシュの遊びを楽しくやってみることができる。（観察、ワークシート）</p> <p><b>【知識・理解】</b>・言葉や文化の違いがあっても、同じように遊んだり生活したりしていることを理解している。（ワークシート、発言）</p>		

## 1 2. 苦勞した点・改善点

- ・1時間目の絵本を読む際に、「馬の卵」があると思っている子どもが何人もいて、絵本のおもしろさを感じる事が少し難しかった。言葉を砕きながら話す必要がある。
- ・2時間目の写真を選ぶ際に、子どもたちにとってより身近に感じられるものを選ぶことが難しかった。初めは「郵便トラック」も取り入れたが思っていたよりも子どもの身近でなかったため、「郵便ポスト」に変更した。また、「リキシャ・人力車」は、バングラデシュを知る上では外せない題材だったが、子どもたちが人力車を知らず、グループで話し合う際に、子どもたちが難しさを感じていた。
- ・写真の選別もまた、難しかった。撮り集めてきた写真でも、角度や背景、人の様子により、提示した時に見える方が変わる。また、撮っていたつもりでも、実際使いたい形で撮ることができていなかったから、探すのが大変だった。また、写真を比べる際に、子どもたちの見つける「似ている」や「違う」が、国や文化に関係のあるものになるように、バングラデシュと日本の写真が、できるだけ同じ角度、様子であるものを選ぶのに苦勞した。
- ・画用紙に「にているポイント」「ちがうなポイント」をまとめ、それを見ながら発表した。それがあってもなくても、子どもたちが発表に慣れていないこともあり、時間がかかってしまった。発表の形は改善が必要である。でも、各班で見る写真を違うものにしたので、全体交流したときに、いろいろなバングラデシュと日本を見ることができ、子どもたちの世界は一気に広がったように思う。

## 1 3. 授業づくりのための参考資料・引用文献

- ・石川直樹. 2014. 「世界のともだち9 バングラデシュ わんぱくアシフと青い自転車」. 偕成社
- ・酒井公子 (再話). 2003. 「たまごからうま」. 偕成社
- ・ビプラダス・バルア (再話). 1985. 「馬のたまご」. ぼるぷ社
- ・『地球の歩き方』編集室. 2014. 「地球の歩き方 バングラデシュ 2015～2016年版」. ダイヤモンド社

## 1 4. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)

※以下の児童の文章は、読みやすいようにひらがな文を漢字に直し、文末を揃えた。また必要な箇所は補足説明も加えている。

### 【1時間目ふりかえりより】

#### ◎本「うまのたまご」について

- ・バングラデシュの本がおもしろかったです。どうしてかというライオンとかが出てきたからです。
- ・「うまのたまご」という本を初めて知りました。また読みたいです。
- ・「うまのたまご」をさがす男が、たまごがないのにあきらめずに歩いて、つかれるかなって思います。
- ・日本の本も面白かったけど、バングラデシュの本もすごくおもしろかったから、うちで1つほしいです。
- ・たまごを探しに行くとき、嘘をつかれたみたいで、おもしろくて、もう一回見てみたいです。
- ・うまのたまごのつづきを知りたくて、バングラデシュに行きたいです。
- ・バングラデシュの「うまのたまご」の続きも知りたくてしょうがないです。外国の本も結構おもしろいと思いました。
- ・絵が楽しいし、「うまのたまご」が面白かったです。

#### ◎昔話や外国について

- ・いろいろな昔話があったのしかかったです。またいろんな昔話を見てみたいです。
- ・もっと外国や日本の昔話を知りたいです。バングラデシュのお話も、もっと知りたいです。
- ・楽しかったから、もっと国のお話が見たいです。もっと違うところ(外国)のお話も見たいです。

- ・外国のお話がすごく面白くて、もっと見てみたいです。
- ・まだまだ昔話があると思うけど、外国のお話もたくさんあってびっくりしました。
- ・国旗みたいなお話も知りたいです。もっと（バングラデシュの）いろんなことを知りたいです。
- ・日本の昔話と外国の昔話は、言葉が違いました。たとえば日本は「まっておくれ」だけど、外国は「こっちか」とかでおもしろかったです。
- ・いろいろな昔話があることを知りました。
- ・すごく日本の昔話も楽しいし、外国の絵本もすごく楽しかったからまた見たいです。
- ・バングラデシュのお話と日本の話はぜんぜん違ったからびっくりしました。ほかの国のお話もいっぱい読んでみたいです。
- ・外国のお話がすごく面白いと思いました。日本のお話も面白いと思いました。

## 【2時間目ふりかえりより】

### ○違いがわかった

- ・ルールや国民のことが全然違いました。ぼくはそれにびっくりしました。いろいろ違いました。そのことをもっと勉強したいです。
- ・日本とバングラデシュの違いがたくさんわかりました。まだ、違うところはいっぱいあると思います。また、日本とバングラデシュの違いを調べてみたいです。
- ・日本とバングラデシュは、同じものもあれば、違うものがあったりして、楽しかったです。またいろいろなことが知りたいです。
- ・バングラデシュと日本はちょっと似ていて違うのがわかりました。
- ・すごく似ているところもあるし、すごく変わったものもあるから、すごくおもしろかったです。
- ・日本とバングラデシュは同じことや違うことがあるのがわかりました。1番びっくりしたことは、カレーを手で食べることです。いろいろなことを知れて、嬉しかったし、楽しかったです。
- ・バングラデシュの食べ物を手で食べるのを知りました。とてもおいしそうな食べ物です。とても楽しかったです。
- ・バングラデシュの人は全部右手で食べるとは思いませんでした。左手で食べる则行儀が悪いと言われているけれど、日本では右手でも左手でも行儀が悪いから、日本と全然違うなと思いました。
- ・日本のバスは駅で停まって人を乗せているのに、バングラデシュのバスは、ちょっとずつ進んでいることに、驚きました。
- ・バングラデシュと日本はこんなに違うんだなーと思いました。すごくびっくりしました。国旗は似ているけど、違うところがいっぱいありました。

### ○バングラデシュ、すごい！

- ・バングラデシュは、こんなに日本よりすごいがあるんだなって思いました。
- ・（果物について）日本と似ていたものもあったけど、似ていなくて、食べたことがないものもあったからびっくりしました。
- ・バングラデシュの果物がいっぱい食べたいです。ぜんぶ（写真で並んでいる果物が）つぶで、全部買いたいです。日本よりもすごいです。

### ○そのほか

- ・日本の果物は大きくて、バングラデシュの果物が小さいことにびっくりしました。
- ・これ（人力車）が何かわからなくて、難しかったです。（人力車&リキシャの写真のグループの子）
- ・バングラデシュが知れてよかった。バングラデシュのごはんがこういうものだったんだって分かりました。
- ・馬車（人力車とリキシャのこと）が日本はでかいけど、バングラデシュは自転車だから乗るところが小さくて、人が乗れるのかなって思いました。

### 【3時間目ふりかえり（ハシフくん、サフィアちゃんへのお手紙）より】

- ・日本とバングラデシュと同じ遊びがあるね。
- ・バングラデシュの遊び、とても面白かったよ。
- ・名前は違っても、遊びは同じで不思議でした。
- ・キャラクター（ドラえもん）が同じで嬉しかったよ。
- ・バングラデシュの遊びを教えてくれてありがとう。嬉しかった。日本の遊びも教えてあげたいな。
- ・もっと遊びをやってみたいと思ったよ。
- ・食べ物やスポーツも今度、もっと教えてね。
- ・ベンガル語をしゃべってみたいと思ったよ。
- ・きれいな服を着ているんだね。
- ・バングラデシュは日本より面白い遊びがあるね。
- ・モトゥ・パトゥが面白かったよ。
- ・日本の遊びの名前とちょっと違うけど遊びは同じだよ。
- ・いっぱい教えてくれてありがとう。おうちでやってみたいな。

### 【4時間目 紹介シートより】

#### ○子どもたちが紹介文を書いたものと内容

- ・バス ⇒人が上に乗ること、動きながら人を乗せること
- ・リキシャ ⇒自転車でひっぱること、きれいな飾りがついていること
- ・トルカリ ⇒毎食トルカリであること、いろいろなトルカリがあること、手で食べること
- ・サロワ・カミューズ ⇒きれいな色であること、いつも着ているということ
- ・クリケット ⇒野球に似ていること、人気であること、バッドの形がひらべたいこと
- ・国旗 ⇒形が似ていること、色が日本と違うこと
- ・ポスト ⇒形が丸いこと、3つあること、三色であること、送り先が違うこと
- ・ドリモン ⇒日本のドラえもんであること、漫画は逆さまになっていること
- ・モトゥ・パトゥ ⇒面白いアニメがあること、
- ・お店（果物屋さん） ⇒外にお店があること、果物の大きさが小さいものが多いこと、値札がないこと、

#### ○紹介を聞いてくれた人（お父さん、お母さん、兄弟、先生など）からのコメント

- ・（バスの紹介）動いたまま乗るのが普通だなんてびっくりです。バングラデシュの人たちはみんな運動が得意そうだと思います。おじいちゃん、おばあちゃん、小さな子どもはどうするのかな。また調べて教えて欲しいです。母より
- ・（バスの紹介）バングラデシュは日本と違ってバスの上にも人が乗ることができるなんて…びっくり!!お姉ちゃんは高いところが大好きだから、バスの上に乗ってみたいな♪姉より
- ・（サロワ・カミューズの紹介）バングラデシュの人はいつもこんなきれいな服を着れていいなあと思いました。お母さんも一度着てみたいし、サロワ・カミューズを来ている人を見に、バングラデシュに行ってみていいなあと思いました。教えてくれてありがとう。母より
- ・（くだものの紹介）わたしたちには当たり前のこと、世界のどこかでは不思議で、世界の当たり前がわたしたちの不思議だったりして、とてもおもしろいね。母より
- ・（トルカリの紹介）カレーライスが好きだけど、毎日毎日だったら飽きないのかな？その国、その国によって、食べ方やお行儀が違うんだね。違う国の話を聞けるって楽しいね。ありがとう。母より
- ・（リキシャの紹介）自転車がひっぱるんだね。面白いね。よく勉強したね。姉より
- ・（くだものの紹介）果物が大好きだから、今度お買い物に行ったら、バングラデシュの果物を見つけて食べてみたいね。母より
- ・（トルカリ、食べ方の紹介）へえ～そうなんだ。パパも初めて知りました。日本も昔は手で食べていたんだよ。箸がなかったみたいです。父より

- ・(バスの紹介) 動いているバスに乗るなんて、バングラデシュのおじいちゃん、おばあちゃんは大変だね。行き先も書いていなかったり、バス停もないのはびっくりです。ただ、日本人は日本のやり方が一番良いと思いがちですが、バングラデシュではそのやり方がよいとみんな思っているのかもしれないね。世界中にはいろんな人がいて、それぞれがいろんな考えをもっています。自分だけが正しいと思うのではなく、ほかの人の考えもしっかり聞いて、良いものは真似するといいですね。おじいさんより
- ・(リキシャの紹介) リキシャは綺麗な色で可愛い乗り物ですね。先生も乗ってみたいです。教えてくれてどうもありがとうございます。先生より
- ・(国旗の紹介) バングラデシュの国旗のことがよくわかりました。日本の国旗との違いも教えてくれて、よくわかりました。母より

## 【この学習を通して】

この4時間の学習を通して、子どもたちはバングラデシュを大好きになってくれたと、授業を終えて感じている。

1時間目の学習で触れた絵本は、子どもたちにとってまだ「日本」と「外国」との違いが曖昧なままで、「バングラデシュの絵本」というよりは、「読んでもらった絵本」がおもしろかったという感覚のほうが大きかったと思う。

でも2時間目に日本とバングラデシュとを並べたとき、子どもたちの興味はいっきにバングラデシュへ向かった。全く見たことのない世界を写真で見て、いろいろなことを感じていた。人力車ではなく自転車で引くリキシャをずるいと話したり、手で食べるなんてと驚いたりする子ども、サロワカはきれい、着てみたいと喜んでいた子どもたちは、今回の授業のねらいでもあった、「外国っておもしろい」「いいところがいっぱい」と感じることを楽しんでいた。「日本と同じ・似ている」だけでなく、「日本よりすごい」「いいな」という言葉が子どもたちから自然と出てきていた。

3時間目の遊びの時間は、こちらが言わなくても、どんどん日本のものと比べ、同じところを見つけていった。もっと知りたい、やってみないと、休み時間もバングラデシュの手遊びやおもちゃを使った遊びをする子どもがいた。

4時間目には、家族にもバングラデシュを紹介したが、ワークシートにまとめた以上のことを子どもたちは家で話し、共有することができたようだ。家族に知っていることを伝えることができたことで、喜んで貰えたり自分が家族の誰よりもよく知っていることに嬉しくなったりしたようだった。

学習が終わったあとも毎朝大きな声で、「アッサラーム アライクム」と挨拶をして教室に入ってくる子がいた。家でほかの国の名前や挨拶、国旗を調べてくる子どもも何人もいた。次は同じく日本と国旗が似ている「パラオ」について、教えてほしいと言う子どももいた。保護者からは、この学習で子どもがいっきに世界に興味をもつようになったと伺った。それだけ子どもたちはこの学習を通して、違う文化・生活のある外国を知ることが面白いと感じ、関心をもってくれたのだと思う。

「外国」と言うとバングラデシュの名前が出てくるほど、子どもたちにとって印象深い国にもなった。

初めは外国なんてよくわからず、考えたこともなかった子どもたちだったが、この学習を通してバングラデシュのことが大好きになり、ほかの国のことも知りたいと、広く世界に興味を抱くようになったことが、成果として感じられる。

# むかしばなしがいっぱい!!

★日本のむかしばなしを 見つけよう!



★がいこくのむかしばなしを 見つけよう!



★がいこくのむかしばなしを よんでみよう!

の

』

★きょうのふりかえり

(わかったこと・ころにのこったこと・もっとしりたいこと などをかこう!)

---

---

---

---

〈資料2〉 2時間目 写真でミッケ!まとめかた

○配布する四つ切画用紙

<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px;"></div>	
<div style="border: 1px solid black; width: 60%; height: 25px; margin: 0 auto;">日本</div>	<div style="border: 1px solid black; width: 60%; height: 25px; margin: 0 auto;">バングラデシュ</div>
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 120px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 120px;"></div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【にているポイント】</p><hr/><hr/><hr/></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【ちがうなポイント】</p><hr/><hr/><hr/></div>

(作成例)

<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">こっき</div>	
<div style="border: 1px solid black; width: 60%; height: 25px; margin: 0 auto;">日本</div>	<div style="border: 1px solid black; width: 60%; height: 25px; margin: 0 auto;">バングラデシュ</div>
	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【にているポイント】</p><ul style="list-style-type: none"><li>・赤いまるがある。</li><li>・かたちがいっしょ。</li></ul></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【ちがうなポイント】</p><ul style="list-style-type: none"><li>・赤いまるのばしょ 日本はまん中、バングラデシュは左</li><li>・まわりの色 バングラデシュはみどり</li></ul></div>

# バングラデシュ ミッケ!

バングラデシュと日本の「おなじ」や「ちがい」をたくさん見つけたね。



★きょうのベンきょうで わかったこと・おもったことなどをかこう!


〈資料4〉3時間目パワーポイント



1



2

おともだちをしょうかい♪

ぼくは、**ハシフ**だよ！  
ちょうど**7**さい。  
ぼくの好きなことをいっ  
ぱいおしえるね！

わたしの名まえは、  
**ザフィア**だよ。  
**9**さいなの。  
みんなよろしくね！

3

それでは、さっそく！ 聞いてみよう★  
好きなキャラクターは？

みんなも  
しってるよね？

ぼくは、**ドリモン**が  
すきだよ！

(写真)

- ・ドラえもん商品
- ・ドラえもんの漫画(ベンガ  
ル語)

4

好きなキャラクターは？

テレビでよく  
みるわ

わたしは、**モトゥ・パトゥ**が  
すきよ！

(写真)

- ・モトゥ・パトゥ

5



6

つぎのしつもん 聞いてみよう！  
好きな食べ物は何？

わたしは、  
**さかサのトルカリ**よ。

ぼくは、  
**おにくのトルカリ**！

7

では、  
好きなスポーツは？

わたしは、**バドミントン**  
がすきよ！

8

好きなスポーツは？

ぼくは、クリケットとサッカーがすきだよ！



クリケットは  
やきゅうに  
にているよ

9

好きなあそびは？

なわとびがすき！



それから、  
ルヴァウもすき！

10



日本の  
「すごろく」に  
にているん  
だよ♪

休みじかんに  
やってみてね！

11

でも、  
いちばんすきなのは、  
ダビ！



やって  
みよう!!

12

好きなあそびは？

ぼくは、ルーマルチョル  
が大すきだよ！  
しってる？



みんなで  
やってみよう!!

13

へ～！日本にも  
ルーマルチョルとおなじ  
あそびがあるんだね！



やって  
みよう!!

もう一つ、ぼくがす  
きなのは、  
パニパニ だよ！  
水をとばすゲーム  
なんだ。

14

では、またね！  
アッサラーム  
アライクム！



バングラデシュ  
のあそびは、どう  
だったかな？



15



〈資料6〉 4時間目しょうかいワークシート

1年 くみ 名まえ

# Bangladesh はかせにおまかせ！

★しょうかいする人

★ぼく・わたしの おすすめ Bangladesh！

ぼく・わたしの おすすめ  
Bangladesh は、 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ です。

---

---

---

---

---

【きいてくれた人から かんそうを かいてもらおう！】